

協働通信

放課後子ども教室

放課後子ども教室とは、放課後や週末などに学校施設やその周辺の公共施設などで、地域の方々と遊びや自然体験、文化活動、地域住民との交流活動などに取り組み、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれることを目的に活動しています。市内には、東桂、宝、三吉、盛里地域にあり、それぞれが個性溢れる活動をしています。今回は、三吉地域の子ども教室「三吉子ども教室」と盛里地域の子ども教室「旭子ども教室」の活動を紹介します。

三吉子ども教室

平成18年から地域の方々にも協力していただき、「三吉子ども体験教室」の活動が始まりました。活動内容は「遊び」「自然」「農業体験」「ものづくり」「料理」「読書・学習支援」があり、年間42回活動を行っています。

「遊び」では、フットサルが人気です。



■今年は、W杯の影響かフットサルが大人気でした。

▽都留市まちづくり
市民活動支援
センター
上谷2-1-15
▽開館
月～金曜日(祝日除)
8:30～17:30
▽問合せ先
☎(46)5236
FAX(46)5237
E-mail:shien@city.
tsuru.yamanashi.jp



■地域の史跡をめぐるしました。子どもたちは、自分たちが住んでいる地域の歴史に触れました。

また、夏休み最後の思い出に戸沢川で釣り大会を開催しました。最後のつかみ取りでは、全身びしょびしょになりながら楽しみました。

「自然」では、法能の「人柱地蔵」宮原の「盗まれた石像仏」戸沢の「名月と正蓮寺」玉川のあげ仏「戸沢のカッパのはなし、河童淵」などの5カ所をめぐる地域の歴史に触れました。

旭子ども教室

「農業体験」ではキッズ農園みよしの畑を敵から自分たちで作り作業しました。採れた野菜は料理に活用しています。じゃがいもでニョッキづくり、大根が取れたら沢庵漬けをする予定です。

「今日は、お母さんも仕事で、おばあちゃんもいないので子ども教室に来た」この言葉を聞いて、三吉子ども体験教室が地域の皆さんによって「安全で安心な居場所になっているな」と感じました。これからも、地域の方々と触れ合いながら地域に根付いた子ども教室活動ができるようにしたいと思います。



■十五夜のお団子をおばあちゃんとお姉さんと一緒に作りました。おばあちゃん、お姉さん、ありがとう。

「子どもは地域の宝」をテーマに平成19年から「旭子ども教室」が始まりました。活動内容は、「遊び」「自然」「旭ファーム(農業体験)」「料理」「ものづくり」「読書学習支援」があり、年41回活動を行っています。

「旭ファーム」では、草取りをしながら虫探しなど、楽しく遊びながら行っています。

ています。

「料理」は、旭ファームで採れたものを利用して、きゅうりの漬物、さつま芋のお菓子、大豆で豆腐作り、白菜で漬物など作ります。また、今年は花の苗も育てたのでフラワーアレンジメントなども行いました。

先月は、十五夜のお団子をいきいきサロンのおばあちゃんたちやOGの中学生と一緒に作りました。会話ははずみ、さまざまな年代の方々と交流ができ、とてもにぎやかに楽しく活動できました。

夏休み期間中は、以前、協働通信でも取り上げた与繩地区の子どもたちと一緒に活動しました。子どもたちは、川遊び、旭ファームの畑で花の収穫をしてフラワーアレンジメント、ビーズで腕輪・指輪づくり、読書学習支援などに参加しました。これからも長期休暇や土・日曜日に行う活動には参加を働きかけ盛里地域全体で「旭子ども教室」事業が行われるように工夫をしていきたいと思っています。



■夏休み期間中、与繩地区の子どもたちと一緒に川遊び。みんなでスイカ割りをしました。